

資料2

議員協議会の市議会意見一覧

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容
1	全般	川西市の非核平和都市宣言や人権擁護都市宣言のような宣言と市民憲章は、不可分なものとする。宣言の概念が市民憲章にも入っていることがわかるようにしてほしい。 現在の市民憲章が、この60年の間に、市民にどのように根付いているかを評価する必要がある。 当初、市民憲章が制定されてから、そう時をおかずして、本市で教育を受けたが、市民憲章について学んだ認識があまりなかった。市歌も同様である。 今後、どのように市民憲章を市民に根付かせていくかが課題と考える。
2	全般	市民憲章の陳腐化については、反省すべき点ではないか。今後も見直すべき時には見直しを検討するべきである。
3	(1) 基本コンセプト	市民憲章は、市民が主体となり、市民がまちづくりに積極的に関わる決意の表れと考えられるが、市民にとって圧力になるようなものは避けてほしいし、市民の善意だけを求めてはいけない。 時代が変わっても、変わらないような憲章をつくる必要がある。
4	(1) 基本コンセプト	市民憲章は目標であるとのことだが、変化するものではなく、不変のものにする必要がある。
5	(1) 基本コンセプト	市民憲章が制定された60年前の川西市の状況と比べると、現在はさまざまな場所から移り住んできた市民が多く、グローバル化も進んでいる。市民憲章ではなく、「まちづくり憲章」としての位置づけの方が良いと考える。「市民憲章」は、押し付けられるような気もする。川西市としては「このようなまちづくりをしたい」という憲章にしてはどうか。
6	(2) 市民憲章に盛り込むキーワード	子どもはいずれ自立していくことから、キーワードは「子育て」というよりも「子育て」ではないか。「子育て・子育て」が良いのではないか。
7	(2) 市民憲章に盛り込むキーワード	ふるさと団地再生という観点からも、「住環境の保全」、「住みよい環境づくり」をキーワードにしてはどうか。
8	(2) 市民憲章に盛り込むキーワード	市民憲章は、市民の幸せの諸条件をシンボリックに表したものと考えられるので、キーワードとして「安全」に暮らしていくという視点は必要ではないか。項目として追加してほしい。
9	(3) 内容に関する議論の進め方	市民意見を反映するためのパブリックコメントであれば、パブリックコメント後にも検討委員会を開催し、提出された意見を踏まえた議論を行うべきではないか。

意見番号	意見の分類 (該当のページ、項目など)	意見の内容
10	(3) 内容に関する議論の進め方	児童や学生から意見を聞いてはどうか。市民がつくる市民のための憲章にしてほしい。
11	(4) 市民憲章(素案)について	他市町の憲章をみると、「～しましょう」や「～します」が多いように思える。素案の「～します」は、市民の決意のように感じた。
12	(4) 市民憲章(素案)について	優れた市民憲章とは、簡潔であること、和語が多用されていること、肯定的表現であること、日本人の国民性や日本の文化の本質に係わる深い内容を含んでいること、と言われている。川西市の特徴である源氏との関係を含めるべきである。「源」の文字を入れたら、川西らしくなるのではないか。心の支えや精神的な拠りどころとなるものにしてほしい。
13	(4) 市民憲章(素案)について	素案は、60年前の市民憲章から大きく変化していないのではないかと、最低限の目標のように見える。こういう市民を川西市は期待するというようなものにしてはどうか。近年は、「幸せ」というキーワードで川西市が動き、地域分権、参画協働のまちづくりを行っている。川西市の良さを踏まえた内容にしても良いのではないかと。
14	(4) 市民憲章(素案)について	歴史・文化、産業振興は新たなキーワードになっていると思われるが、素案の部分で「伝統を受け継ぎ」を「伝統を重んじ」にしてはどうか。